

第41回日本義肢装具学会学術大会に参加して

内記 美玖

株式会社 COLABO

2025年11月8日(土)～9日(日)に新潟県の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターで開催された第41回日本義肢装具学会学術大会に、義肢装具士として参加しましたので、その立場から報告いたします。



図1 プログラム・抄録集

本大会はリハビリテーション分野で活躍するさまざまな職種の方々に参加する場です。

今回、私は初めて共同演者と一般口演発表の経験をしました。発表を通じて感じたことは、限られた時間の中でどの職種の方にも分かりやすく要点をまとめることの難しさ、そして発表資料の作成が決して簡単ではないということでした。

もう一つ大きな収穫は、発表をすることにより、普

段関わることの少ない他職種の方々ともコミュニケーションを取る機会が増えたということです。特に私が楽しみにしている質疑応答では、その職種によって異なる視点からの質問が寄せられるので、どの発表の時も興味深く感じました。「医師はそこに疑問を持つのか」「理学療法士の視点はそこなんだ」など、普段私自身は疑問に感じないことも、他職種にとっては疑問に感じることなのだとなんだと新たな気づきを得ることができ、大変勉強になりました。実際に発表を経験したことで、このような学びを得られたことを嬉しく思います。

また、展示会場では主に義肢装具のメーカーの方々と交流ができます。義足や義手のパーツを実際に操作してみたり、インソールの材料など展示品は多岐に渡ります。パーツの使い方を学んだり、新しいカタログの入手をしたりと、とても有意義な時間を過ごすことができました。

日頃疑問に思っていることをメーカーの方から直接意見も伺えるので展示会場に足を運ぶことも非常に重要だと感じました。

今回の大会のテーマが【多職種連携による疾患・障害・高齢者へのアプローチ】でした。多職種の方々がそれぞれの視点から発表・展示を行うことで、私自身の視野を広げる貴重な機会となり、心から感謝しています。

株式会社 COLABO

〒121-0813 東京都足立区竹の塚 7-6-14